

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 伊丹健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">・ICTやAIの発展、スマートフォンの普及により、日常生活におけるデジタル技術の活用は急速に普及している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、管内市町や食育関係団体は従来の食育活動（対面での料理講習や食育イベントでの試食）を自粛せざるを得ない状況が続いており、新たな生活様式に対応した食育推進が求められている。・新型コロナウイルス感染症の影響か定かではないが、管内では子どもの肥満が増加傾向にあり、子どもやその保護者への食育の発信方法について模索しているところでもある。・デジタルツールは、これからの日常に欠かせないコミュニケーションツールであり、「新しい時代」とともに全世代に向け食育のデジタル化も一層進める必要があるものの、指導者側がデジタル技術に疎い傾向があるなど、技術的な課題が存在している。
今年度の推進方策	<p>デジタル化社会に対応した新しい食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・食育推進団体・機関の推進状況と課題の把握・デジタルツール使用のための技術的支援
成果	<ul style="list-style-type: none">・食育推進団体・機関の食育のデジタル化の推進状況・課題について情報交換を通じて把握することができた。・実践活動の実施により、参加者の個人差はあるものの学んだことを活かそうする変化が見られている。・研修対象としていた団体からの口コミにより、参加を希望する他団体から問い合わせがある等、技術支援の需要を確認できた。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・取組みの情報交換による効果的な食育推進方法の検証・デジタル技術の活用に向けた継続的な技術的支援

2 会議の開催状況

実施日時	令和4年4月25日（月）10:00～12:00
参集者 (団体数 及び人数)	管内3市町（母子保健主管課）6名
協議内容	<ol style="list-style-type: none">1 兵庫県第4次食育推進計画について2 令和4年度健やか食育プロジェクトについて3 各市町における食育のデジタル化の推進状況と課題
今後の方策	<ul style="list-style-type: none">・デジタルツールを活用した食育の取組み結果と先進事例の共有

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	～時代のニーズに応えたい～ 食育のデジタル化に向けた技術力強化の推進		
対象及び参加者数	①大学4年生(計15名) ②食育団体(管内いずみ会員 計35名) ③食育団体(管内いずみ会員 計17名)		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	①令和4年8～9月 武庫川女子大学	【動画作成①】 内容：若者が使用するデジタルツール紹介編（動画作成①） ・食情報をどこから入手？ ・心に刺さる発信内容 等	○伊丹健康福祉事務所
		【動画作成②③】 内容：実践！SNSの使い方講座編（Twitter・インスタの2種類作成） ・アカウントを作成しよう ・気を付けたい個人情報 等	
	②令和4年10月12日（水）、13日（木）、18日（火）各10:00～10:30 伊丹健康福祉事務所 令和5年1月16日（月）12:30～13:00 キセラ川西プラザ	【講義・技術研修・意見交換】 ①上記動画の視聴研修 ②自分たちに出来るアプローチ方法	○伊丹健康福祉事務所
③令和4年10月6日（木）13:30～15:30 伊丹健康福祉事務所	【技術研修】 内容：美味しくみえる料理撮影講座編～スマホでも料理を上手に撮影できます～ ①講義（色・構図） ②実技・実技評価 ③質疑応答	○元キャノンマーケティングジャパン株式会社 社員 ○伊丹健康福祉事務所	
成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大期の影響により、若者世代と食育関係団体の懇話会や対面研修会が実施出来ず、動画作成による視聴研修に変更した。日程の変更により参加者が計画より少なくなりましたが、若者世代の現状について周知することが出来た。 ・参加者の個人差はあるものの、その後の活動で研修内容を実践的に活かしている姿がみられている。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業への参加率 3/6 団体・機関 ※欠席機関には後日資料配布 ・デジタルツール(SNS・HP)を活用した食育をしたいと思う団体 2/3 団体 ・その他意見「やってみたいが難しそう、個人情報漏洩が怖い」「SNSは難しそうだが新しく取り入れてやっていかないといけない」という意見が出た。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者や内容を踏まえた効果的な方法の検証 ・デジタル技術を活用できる食育関係者の育成・継続的な支援 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

「食育のデジタル化」推進 ～令和4年度健やか食育プロジェクト～

伊丹健康福祉事務所

背景

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、管内市町や食育関係団体は従来の食育活動を自粛せざるを得ない状況が続いている。
- 日常生活におけるデジタル技術の活用は急速に普及し、デジタルツールは、これからの日常に欠かせないコミュニケーションツールであり、食育のデジタル化も一層進める必要がある。
- 一方、指導者側がデジタル技術に疎いなど、技術的な課題が存在

今年度の方針

- 食育関係団体・機関の推進状況と課題の把握
- デジタルツール使用のための技術的支援

市町では・・・
この2～3年で離乳食教室や親子料理教室などのオンライン化を開始
若い世代のひきつけ方が課題

団体では・・・
自分たちの取り組みをネットで発信したい！
新たな取り組みを行いたい！
でもやり方が分からない

<技術向上研修>

①若者が使用するデジタルツール紹介編

②SNSの使い方講座編



- ・どこから食情報を入手？
- ・若い世代がフォローするSNSのアカウントとは？
- ・SNS用語の基本
- ・SNSの楽しみ方 等

※新型コロナの感染拡大期に伴い、対面型研修の予定から動画の作成並びに視聴研修に変更しました。

<技術向上研修>

美味しくみえる料理撮影講座編

美味しく見えてこそ
「どう作るの？」
「作ってみよう」
と中身を見てもらえる！

研修前の写真



研修後の写真



カメラメーカー出身(フォトマスター1級)の講師をお招きし、
色(ライティング)・構図の2つのポイントを中心に、背景・小物
術に至るまでを座学と実技を通じて学びました

今後の課題

対象者や内容を踏まえた効果的な啓発方法の検証
デジタル技術を活用できる食育関係者の継続的な育成・支援